

# まち変える「特殊部隊」

まずは三朝!

地域活性化に関心のある有志が集い、まちを変えるために行動する「特殊部隊」が鳥取県中部で生まれた。毎月テーマを決め、1カ月の期間内に一人一人が主役となってテーマのためにできることを確実に実行する。

## 県中部に出動中 地元有志ら 月ごとに任務遂行

部隊の名は「Deep Impact」(ディープインパクト)。  
まちづくりについて話し合いをしてもなかなか前に進まない現状に疑問を感じた倉吉市上井のレストラン「ageHa」のゼネラルマネジャー、谷川良美さん(34)と、同市内のNPO法人「未来」の事務局長、麻田雄一さん(31)が仕掛け人となって立ち上げた。  
部隊名は、彗星に物体を衝突させて内部構造を調べるアメリカ航

地域活性化に向け、ひとつきプロジェクトに取り組む「Deep Impact」のメンバー



空宇宙局の探査計画「クト」が特徴。6日夜瓶500本でタワーを「ディープインパクト」に会社員やNPO職作る「コーラタワー」になぞらえ、まちに「部員、行政職員、青年部や、三朝温泉の起源部隊」を投入して魅力方向員ら若手14人が「age湯」の良さをレポート上のために何が出来る「eHa」に集い、第1する「株湯大使」、1か考えようと名付け 回目となる11月のテーマ「三朝温泉」について「コミニ万人」など、九つのプロジェクトが決まった。

交流サイト「フェイスブック」を活用したメンバー募集やプロジェクトの進行状況の報告、話し合いの様子を動画共有サービス「Ustream」で配信するなど、取り組み方も「今風」で、スピード感のある地域活性化に取り組んでいる。

12月のテーマは「北栄町」に決まり、参加メンバーを募集中。谷川さんは「毎日ごみ拾いをするなど、小さなことでも今できることをやれば、5年、10年後にまちは必ず変わっている。人に任せず、一人一人が主役になってまちを変えていきたい」と話している。